リハビリテーション医学（生活と疾病Ⅰ）シラバス

（専攻科理療科２年次に履修）

【授業目標】

　リハビリテーション医学に関する実践的・体験的な学習活動を通して、施術を行うために必要な資質・能力を養う。

【授業の概容】

　医学的リハビリテーションにおける診断と評価、運動学の基礎について学ぶ。さらに脳血管障害や脊髄損傷など、主な疾患のリハビリテーションの概要を、実技も含めて学習する。

◇使用教科書（出版社）：「生活と疾病ⅠＡ(リハビリテーション医学) 概論編」

（東京ヘレン・ケラー協会）

日本理療科教員連盟教科書委員会編　太田淳一郎著

　　 ：「生活と疾病ⅠＢ(リハビリテーション医学)基礎運動学編 」

（東京ヘレン・ケラー協会）

◇総時間：70時間（２単位）

◇学習内容

|  |  |
| --- | --- |
| 月 | 単元・題材名 |
| ４ | リハビリテーションの概要 |
| ５ | 医学的リハビリテーションの概要 |
| ６ | リハビリテーション治療 |
| ７ | 疾患別リハビリテーション治療（脳血管障害） |
| ９ | 疾患別リハビリテーション治療（脊髄損傷） |
| １０ | 疾患別リハビリテーション治療（脳性麻痺）・切断 |
| １１ | 疾患別リハビリテーション治療（呼吸器・整形外科疾患） |
| １２ | 疾患別リハビリテーション治療（神経疾患） |
| １ | 疾患別リハビリテーション治療（心疾患） |
| ２ | 運動学の基礎 |
| ３ | 正常歩行と歩行の異常 |